

# 安全データシート (SDS)

当該データシートの内容とフォームは GHS 標準を参照して作成すること

## 1 製品及び会社情報

- ・製品の詳細：
  - ・製品名：復活 DPF クリーナー
  - ・製品の応用：DPF 洗浄剤
  - ・整理番号：PD-133-A
  - ・メーカー/サプライヤー：株式会社大丸テクノ
  - ・住所：群馬県伊勢崎市東上之宮町 42 番地 1 号
- 詳しくは株式会社大丸テクノにご連絡ください。  
電話番号：0270-61-9150  
FAX 番号：0270-61-9170
- ・緊急連絡先情報：(日中：9：00～17：30)  
応急電話：0270-61-9150

## 2 危険有害性の要約

- ・GHS 分類 (付録 2 中の分類標準を参照する)：

物理化学的危険性	健康有害性	環境有害性
爆発物-区分に該当しない 可燃性ガス-区分に該当しない エアゾール-区分に該当しない 酸化性ガス-区分に該当しない 高压ガス-区分に該当しない 引火性液体-区分 4 可燃性固体-区分に該当しない 自己反応性化学品-区分に該当しない 自然発火性液体-区分に該当しない 自然発火性固体-区分に該当しない 自己発熱性化学品-区分に該当しない 水反応可燃性化学品-区分に該当しない 酸性液体-区分に該当しない 酸性固体-区分に該当しない 有機過酸化物-区分に該当しない 金属腐食性化学品-区分に該当しない 鈍性化爆発物-区分に該当しない	急性毒性 (経口) -区分に該当しない 急性毒性 (経皮) -区分に該当しない 急性毒性 (吸入：ガス、蒸気、粉じん、ミスト) -区分に該当しない 皮膚腐食性/刺激性-区分に該当しない 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性-区分に該当しない 呼吸器感作性-区分に該当しない 皮膚感作性-区分に該当しない 生殖細胞変異原性-区分に該当しない 発がん性-区分に該当しない 生殖毒性-区分 1B 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) -区分 3 (麻酔作用) 特定標的臓器毒性 (反復ばく露) -区分に該当しない 誤えん有害性-区分に該当しない	水生環境有害性 短期 (急性)-区分に該当しない 水生環境有害性 長期 (慢性)-区分に該当しない オゾン層への有害性-区分に該当しない

・GHS ラベル要素絵表示：

・注意喚起語：危険

・危険有害性絵表示：



・危険有害性情報：

H227：可燃性液体。

H302：飲み込むと有害。

H335：呼吸器への刺激のおそれ。

H336：眠気やめまいのおそれ。

H360：生殖能または胎児への悪影響のおそれ。

・注意書き（予防策）

P201：使用前に取扱説明書を入手すること。

P202：すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

P210：裸火や高温のものから遠ざけること。－禁煙。

P240：流動によって静電気が発生する場合がありますので出し入れの容器にはアースをとること。

P242：火花を発生させない工具を使用すること。

P243：静電気放電に対する予防措置を講じること。

P261：粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

P264：取り扱い後はよく手を洗うこと。

P271：屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

P270：この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

P280：保護手袋/保護眼鏡 /保護面を着用すること。

P281：指定された個人用保護具を使用すること。

・応急処置：

P301+P310：飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。

P304+P340：吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

P308+P313：暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断 / 手当を受けること。

P312：気分が悪い時は、医師の診断に連絡すること。

P370+P378：火災の場合：二酸化炭素、粉末消火剤、泡消火剤などを用いて消火する。

・保管：

P403+P235：換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

P233：容器を密閉しておくこと。

P405：施錠して保管すること。

・廃棄：

P501：国際/国/都道府県/市町村の規定（明示する）に従って処理すること。

### 3. 組成及び成分情報

- ・単一製品・混合物の区別：単一製品（√）；混合物（○）

成分名称	重量百分比(%)
エーテル系有機溶剤	95-100%

### 4. 応急措置

- ・本製品を使用して、被害事故が発生した場合、使用者は医師または専門の医療機関に相談する必要がある。特定の応急対策は次の通り。
- ・目に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合は外して洗うこと。その後も洗浄を続けること。刺激感が消えなければ、医師の診断、手当を受けること。
- ・皮膚に付着した場合：直ちに汚染された衣服を脱ぎ、皮膚を大量の水で洗うこと。汚染された衣服を再使用する場合には洗濯すること。皮膚刺激又は発しんが生じた場合、医師の診断手当てを受けること。
- ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。調子が良くないと感じたら医師の手当てを受ける。
- ・誤飲、誤食した場合：口をすすぐこと。気分が悪いときは医師に連絡すること。

### 5. 火災時の措置

- ・引火点：93℃
- ・引火性/爆発限界（下限） Vol %：1.6
- ・引火性/爆発限界（上限） Vol %：18.1
- ・消火剤：霧状水、泡、粉末、炭酸ガス
- ・特定の消火方法：  
関係者以外は安全な場所に退去させる。
- ・消火を行う者の保護：消火作業の際は、風上から行い必ず保護具を着用し、皮膚への接触が想定される場合は、不浸透性の保護具及び手袋を着用する。  
消火作業を行う者は、空気呼吸器などの保護具を着用し、酸素欠乏および有害ガスから身をまもること。

### 6. 漏出時の措置

- ・人体に対する注意事項：関係者以外の立ち入りを禁止する。状況に応じて保護具（呼吸用保護具、化学防護服、手袋、長靴、眼鏡、マスク等）を着用し、当該物の吸入や直接接触を避ける。回収が終わるまで十分な換気を行う。
- ・洗浄/収集などの除去方法：不活性の物質（乾燥砂、土など）に吸収させて、容器に回収する。
- ・環境に対する注意事項：回収された廃棄物を排水溝、下水溝と河川など流水域に流入しないよう注意する。当地と関係国の法律に従う。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### . 取扱い：

蒸気や煙などの吸入を避けることこと。

作業の際には必ず適切な保護具を着用し、また取扱説明書に従って作業すること。

みだりに火気その他点火源となる恐れのあるものに接近させ、若しくは注ぎ、蒸発させ、又は加熱しないこと。

取り扱う設備のある場所に可燃性のもの又は酸化性のものを置かないこと。

容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。

### . 火災や爆発保護に関する情報：

着火源・熱源から遠ざける。

### . 保管：

. 適切な保管条件： 涼しい所/換気の良い場所/乾燥した場所で保管すること。

. その他： 保管場所には適切な消火設備や漏出処理施設を設けること。

## 8. 暴露防止及び保護措置

### . 許容濃度：

データなし。

### . 設備対策：

厳格に手順通りに操作し、全体換気装置や局所排気装置を設置し、良好な送風環境を保持し、空気接触値が適切な範囲内にあるよう確保すること。手洗い/洗顔/洗眼設備を設ける。

### . 個人用保護具（作業員に対する）：

#### . 手の保護具：

不浸透性のゴム製手袋を着用する。

#### . 目の保護具：

普通、特別な要求無し。正常の取扱い条件において、特別な措置は必要がない。飛沫が飛ぶ場合には、保護眼鏡をかける。

#### . 呼吸器の保護具：

高濃度の蒸気が発生する場所では、呼吸器保護具（送気マスク、空気呼吸器など）、眼の保護具（ゴーグル型）を着用すること。

#### . 皮膚及び身体の保護具：

適切な保護具（不浸透性の防護手袋、防護靴）を着用すること。

#### . 一般的な保護、衛生対策：

休憩の前に、作業終了後は、手洗いを十分に行う。

加工による蒸気を吸入することを避ける。

皮膚や目への接触を避ける。

## 9. 物理的及び化学的性質

. 基本情報	
. 物理状態：	液体
. 色：	無色
. 臭い：	有機臭
. 融点/凝固点：	-70℃
. 沸点又は初留点及び沸点範囲：	193℃
. 可燃性：	引火性
. 燃焼又は爆発範囲（下限） Vol %：	1.6 vol%
. 燃焼又は爆発範囲（上限） Vol %：	18.1 vol%
. 可燃限界：	情報なし
. 引火点：	93℃
. 自然発火温度：	215℃
. 分解温度：	情報なし
. pH 値 (@25℃)：	情報なし
. 動粘度：	情報なし
. 溶解度：	1000g/L
. n-オクタノール/水分配係数 (log 値)：	-1.14
. 蒸気圧：	30Pa/20℃
. 密度及び/又は総体密度：	1.001
. 相対ガス密度：	情報なし
. 粒子特性	情報なし

## 10. 安定性及び反応性

- . 安定性：通常の手扱い条件においては安定である。
- . 危険有害反応可能性：爆発性の過酸化物を形成するおそれがある。強力な酸化剤と反応する。
- . 危険有害な分解生成物：炭素酸化物
- . 避けるべき材料：引火原、裸火
- . 混触危険物質：強酸化性物質。
- . 避けるべき条件：高温環境。混触危険物質との接触。

## 11. 有害性情報

### 毒性学的影響に関する情報

#### 生殖毒性

##### エーテル系有機溶剤

動物試験において過剰暴露が生殖機能の障害を引き起こす可能性がある。

#### 特定標的臓器毒性（単回ばく露）

##### エーテル系有機溶剤（区分3 麻酔作用）

ウサギで経皮投与後、めまい、不安定歩行、虚脱があった。

## 12. 環境影響情報

- 生態毒性：藻類 96時間 EC50>500mg/L  
甲殻類 48時間 EC50=1192mg/L  
魚類 96時間 LC50=5700mg/L
- 残留性・分解性：良分解性
- 生体蓄積性：0
- 土壤中の移動性：オクタノール/水分配係数 -1.14
- オゾン層への有害性：オゾン層への有害性データなし。
- 一般的な注意事項：地下水、河川もしくは下水道に本製品を入れることを避ける。

## 13. 廃棄上の注意

- 注意事項：  
地下水、河川もしくは下水施設に廃棄物を入れることを避ける。  
廃棄物の処理は現地の廃棄処理機関の規定により処理する。  
認定を受けている産業廃棄物処理業者に委託して処理する

## 14. 輸送上の注意

### 米国運輸省 (DOT) :

- 品名：DPF 洗浄液
- 国連分類：クラス 3
- 国連番号：非該当
- 容器等級：III

### 国際航空運送協会/国際民間航空機関:

- 品名：DPF 洗浄液
- 国連分類：クラス 3
- 国連番号：非該当
- 容器等級：III

### 海上輸送 (国際海事機関/国際海上危険物規則) :

- 品名：DPF 洗浄液
- 国連分類：クラス 3
- 国連番号：非該当
- 容器等級：III
- EMS NO. 国際海上危険物輸送に関する応急措置：規定なし

バルク輸送における MARPOL 条約附属書II 改訂有害液体物質及び IBC コード  
有害液体物質 (Z 類) エーテル系有機溶剤

- 注意事項：  
輸送前に包装に破損が無い、良く密封できているかを確認する；輸送過程において、包装に破損が無く、貨物が落ちないように確保する；消防用と漏出処理用の関連設備を配備する；不溶物質との共同輸送を禁止する。  
第1類、第6類の危険物、高圧ガスとの混載禁止。

## 15. 適用法令

・国内化学品安全管理の関連法規の情報：

・労働安全衛生法：

名称等を通知すべき危険物及び有害物：なし

・毒物及び劇物取締法：関連規定なし。

・化学物質排出把握管理促進法（PRTR）：

第一種指定化学物質：区分外

第二種指定化学物質：区分外

・消防法：第四類第三石油類 危険等級Ⅲ 水溶性

・船舶安全法：引火性液体類（高引火性液体） 船舶安全法に定めるところに従う。

・航空法：危険物告示別表第3 可燃性液体 航空法に定めるところ及び、ICAOの規定に従う。

・産業廃棄物の種類：国際/国/都道府県/市町村の規定（明示する）に従って処理すること。

・国際法規：

・リスクフレーズ及びセーフティフレーズ（67/548/EEC 付録Ⅲ及び付録Ⅳ）：

成分名	リスクフレーズ	セーフティフレーズ
エーテル系有機溶剤	R63	S: (2-)36/37

・米国有害物質規制法（TSCA 在庫品目）：エーテル系有機溶剤

・米国大気浄化法：

当製品はクラスⅠのオゾン層破壊物質を一切含んでいません

当製品はクラスⅡのオゾン層破壊物質を一切含んでいません

## 16. その他の情報

記載されていること、または意図することのいかに関わらず、その内容を保証するものではありません。  
株式会社大丸テクノとして今後の使用及び準拠に関していかなる法的責任を負うものではありません。

参考文献：

JIS Z 7253:2019

GHS SDS の作成指針

労働安全衛生法

毒物及び劇物取締法

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

消防法

化学物質管理促進法（PRTR）

\*\*\*\*\*終わり\*\*\*\*\*